

地球温暖化対策実施状況報告書

令和 3 年 7 月 2 日

名古屋市長 様

報告者 住 所 名古屋市東区東新町1番地
氏 名 中部電力パワーグリッド株式会社
代表取締役 社長執行役員 市川 弥生次

(代理者) 氏 名 名古屋支社長 下村 公彦
(法人の場合は、所在地、名称及び代表者氏名)

市民の健康と安全を確保する環境の保全に関する条例第100条第2項の規定により、地球温暖化対策の実施の状況について、次のとおり報告します。

工場等の名称	チュウデンチヨダビル 中電千代田ビル		
工場等の所在地	名古屋市中区千代田二丁目12番14号		
業種等	業 種	電気・ガス・熱供給・水道業	
	業務部門における建築物の主たる用途	事務所	
事業の概要	一般送配電事業（電気の安定供給に関する事業）		
連絡先	担当部署	会社名・担当部署	中部電力パワーグリッド株式会社 名古屋支社
		住 所	〒460 - 8310 名古屋市中区千代田二丁目12番14号
	担当者氏名		
	電話番号等	電話番号	052-243-9100
		ファクシミリ番号	052-269-1302
電子メールアドレス			
地球温暖化対策の実施の状況	別添のとおり		
工場等番号	※		

注1 連絡先には地球温暖化対策計画書の内容に関する担当部署名等を記入してください。

2 ※印のある欄は記入しないでください。

備考1 用紙の大きさは、日本産業規格A4とします。

備考2 氏名（法人にあってはその代表者の氏名）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあってはその代表者）が署名することができます。

地球温暖化対策実施状況書

1 地球温暖化対策事業者の概要

地球温暖化対策事業者 (届出者)の名称	中部電力パワーグリッド株式会社
地球温暖化対策事業者 (届出者)の住所	名古屋市東区東新町1番地
工場等の名称	中電千代田ビル
工場等の所在地	名古屋市中区千代田二丁目12番14号
業種	電気・ガス・熱供給・水道業
業務部門における 建築物の主たる用途	事務所
建築物の所有形態	自社ビル等(自ら所有し自ら使用している建築物)
事業の概要	一般送配電事業(電気の安定供給に関する事業)
計画期間	平成31年4月1日 ~ 令和4年3月31日

2 地球温暖化対策実施状況書の公表方法等

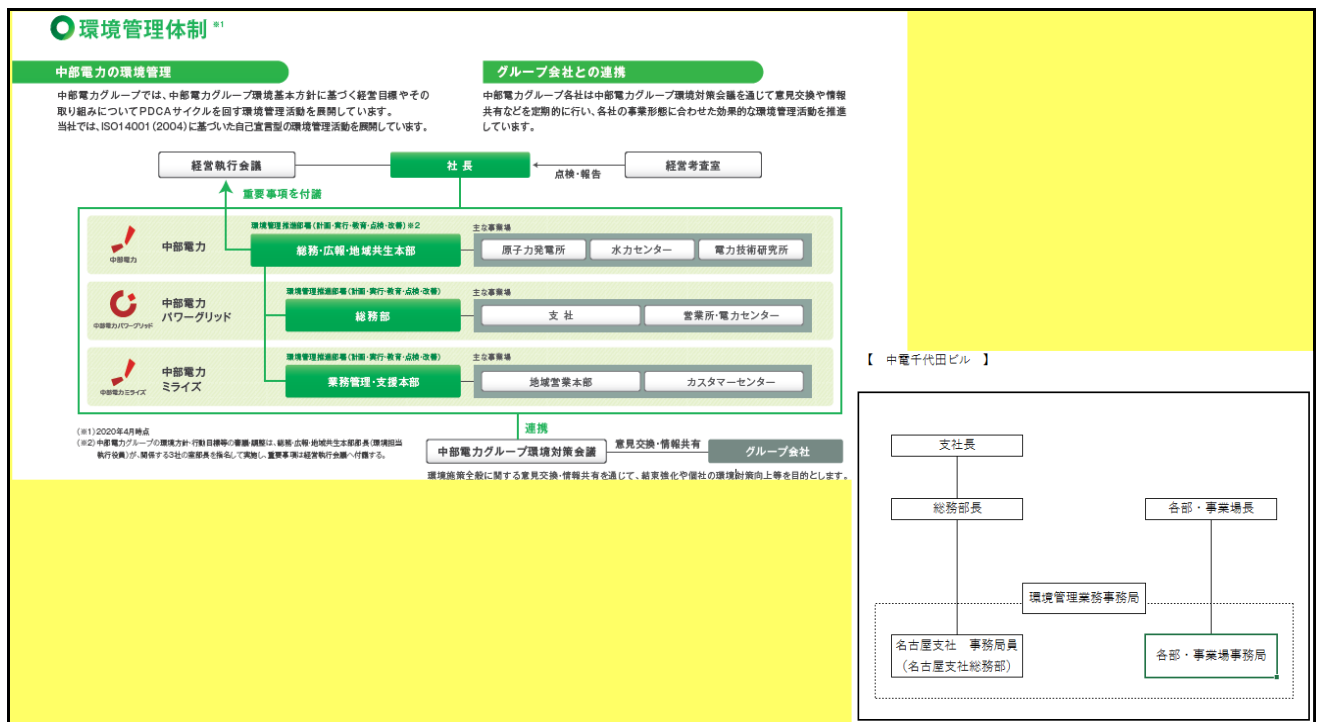
公表期間	令和3年7月2日 ~ 令和3年9月30日		
公表方法	○	掲示 閲覧	(場所) 名古屋支社内
		ホーム ページ	(HPアドレス)
		冊子	(冊子名・ 入手方法)
		その他	(その他詳細)
公表に係る問合せ先	052-243-9100		

3 地球温暖化対策の推進に関する方針及び推進体制

(1) 地球温暖化対策の推進に関する方針

別紙(添付資料)による

(2) 地球温暖化対策の推進体制



4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 2 年度目（令和 2 年度）の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		2, 291	t-CO ₂
（温① 二室を 酸効除 化果く 炭ガ 素換 算排 出量）	②非エネルギー起源二酸化炭素（③を除く。）		t-CO ₂
	③廃棄物の原燃料使用に伴う非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	④メタン		t-CO ₂
	⑤一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑥ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑧六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑨三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑩エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑩合計）		2, 291

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

（1）温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	平成 30 年度		令和 3 年度		令和 1 年度	令和 2 年度	令和 3 年度			
温室効果ガス 総排出量	2, 611	t-CO ₂	2, 533	t-CO ₂	2, 277	t-CO ₂	2, 291	t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対 基準年度）			3.0	%	12.8	%	12.3	%		%
温室効果ガス みなし総排出量						t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率（対 基準年度）						%		%		%

項 目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	平成 30 年度		令和 3 年度		令和 1 年度	令和 2 年度	令和 3 年度			
原単位あたりの 排出量										
削減率（対 基準年度）				%		%		%		%
原単位あたりの みなし排出量										
削減率（対 基準年度）						%		%		%

（2）進捗状況に対する自己評価（目標の達成／非達成の理由）

「LED照明の採用」「不要照明の消灯の徹底」「空調の省エネ温度設定の実施」の継続により、所員の環境に配慮した取り組みに対する意識向上が図れている。令和2年度の温室効果ガス排出の抑制に関する目標は達成しているが、新型コロナウイルス対策における空調機24時間運転により、夜間電力量が前年度比較して微増となっている。新型コロナウイルス収束後、これまでどおり空調機の省エネ設定で運用することで温室効果ガスの総排出量減に努めていく。

- 備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。
- 備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。
- 備考3 原単位あたりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量あたりの温室効果ガス排出量をいいます。
- 備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び再生可能エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

指針第2号様式

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
省エネルギー・省資源の実践 冷暖房	<ul style="list-style-type: none"> 空調温度の省エネ設定 夏季（6月～9月） 28度 冬季（12月～3月） 20度 クールビズ・ウオームビズの推進 	平成30年度を基準として、令和3年度までにCO2排出量の3.0%（年1%）を削減	取組の内容を実施
省エネルギー・省資源の実践 照明	<ul style="list-style-type: none"> 不要な照明電源OFF 執務室、廊下の間引照明 昼休みの消灯 会議室、応接室等の不使用時照明OFF 		取組の内容を実施
省エネルギー・省資源の実践 OA機器	<ul style="list-style-type: none"> 退社時のPC電源OFF 		取組の内容を実施
自動車等輸送機関に関する対策	<ul style="list-style-type: none"> 駐車時のアイドリングストップの実施 		取組の内容を実施
廃棄物の排出抑制	<ul style="list-style-type: none"> 紙使用量の削減 ゴミの分別回収・リサイクルの実施 		取組の内容を実施

指針第2号様式

(2) 再生可能エネルギー及び未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 2 年度目（令和 2 年度）における利用の状況

導入年度	設備等の種類	概要（規模、性能、発生エネルギー量等）

イ 上記のうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	再生可能エネルギーの種類	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
電力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(3) 環境価値（クレジット等）の活用状況

計画期間 2 年度目（令和 2 年度）におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量（みなしの削減量）
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(4) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量（みなしの削減量）の合計

t-CO ₂

(5) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

<ul style="list-style-type: none"> 各職場に環境教育トレーナーを設置し、従業員への環境教育を実施 事務用消耗品等のグリーン調達を推進

(6) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

--